

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

2008 年、本邦の泌尿器科腫瘍領域の臨床における最大の話題の 1 つは、腎癌の治療にソラフェニブとスニチニブという分子標的治療薬が登場したことである。これは、癌細胞の特異的な蛋白質などを標的とした新たな治療薬であり、従来の IFN- α および IL-2 を中心としたサイトカイン療法が大きく変革するものと考えられている。今月号の綜説は、秋田大学・湯浅健先生らの「腎細胞癌に対する分子標的治療の展開」で、分子標的治療薬の抗腫瘍作用機序から代表的な臨床試験、治療効果の予測、さらには現在進行中の臨床試験まで簡潔に概説しており、新年号の巻頭の綜説としてまさに時宜を得たものである。分子標的治療は、忍容性、近接効果では高く評価されるものの、寛解例の少ないことや多様な副作用が予測されるなどの問題点を指摘している。分子標的治療薬に関する治験を整理できる論文である。

手術手技「小児泌尿器科手術」は、大阪市立総合医療センター 坂本亘先生、神奈川県立こども医療センター 山崎雄一郎先生および岡山医療センター 後藤隆文先生による「Wilms 腫瘍に対する手術」3 編である。Wilms は、小児泌尿器科領域において代表的な腎腫瘍であるが、泌尿器科医一般にとっては馴染みの薄い疾

患・手術と思われる。各筆者の貴重な経験を実感できる読みごたえのある論文である。

セミナー「ここまできたトランスレーショナルリサーチ」は、岩手医科大学の兼平貢先生らの「膀胱癌ワクチン療法：網羅的遺伝子発現情報解析による標的分子の同定」である。遺伝子発現解析に関する共同研究のため、東京大学医科学研究所・ヒトゲノム解析センター（中村祐輔教授）の留学生であった高田先生は、膀胱癌特異的発現遺伝子を抽出し、続いて留学した兼平先生による機能解析がペプチドワクチン開発の基盤となっている。2006 年から膀胱癌症例におけるペプチドワクチン療法の第一期臨床研究を施行、ワクチンの安全性を確認、症例の 50% で抗腫瘍変化を認めた。この結果をもとに、現在表在性膀胱癌の再発防止を目的とした第 2 期臨床研究が進行中である。トランスレーショナルリサーチの実例として参考にしていただければ幸いである。

その他、症例報告が 2 編、画像診断が 3 編、小さな工夫が 1 編、交見室が 1 編、いずれも読者の興味をそその力作と思われる。

（藤岡知昭）

臨床泌尿器科（第 63 巻 第 1 号）（通巻 748 号）
2009 年 1 月 20 日発行（毎月 1 回 20 日発行）

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）

2009 年 年々ぎめ予約購読料 41,360 円
MedicalFinder パーソナルオプション付 53,800 円
増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当：登・中田)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷株式会社 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ（インターネット）は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- ・ JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。